

第1回 まちづくりワークショップ 実施結果 【5月13日 実施】

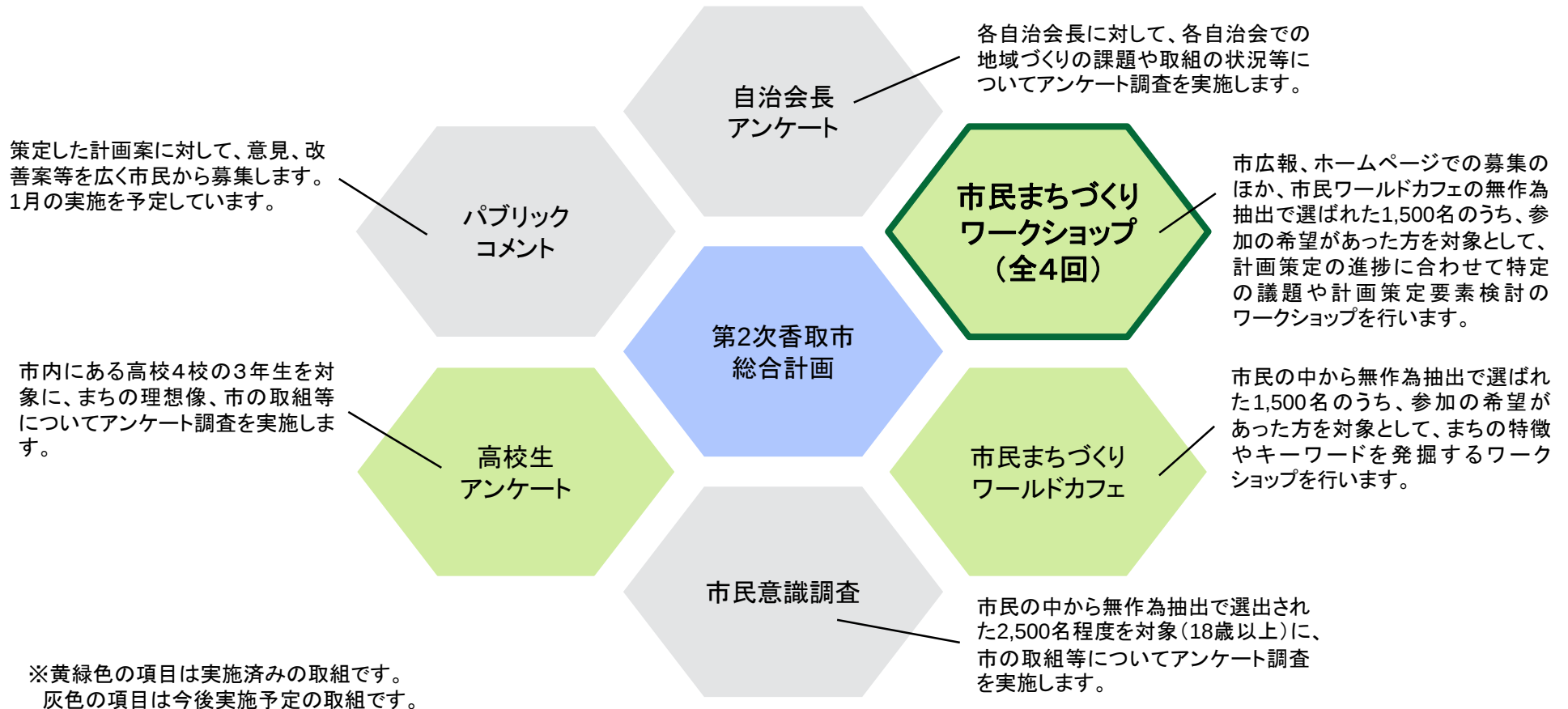
目次

市民まちづくりワークショップの位置づけと役割	2
第1回 まちづくりワークショップでの検討結果	6
第1回 まちづくりワークショップ アンケート結果	19
参考:第1回まちづくりワークショップの様子	26

市民まちづくりワークショップ の位置づけと役割

計画策定にあたっての市民意見の収集方法

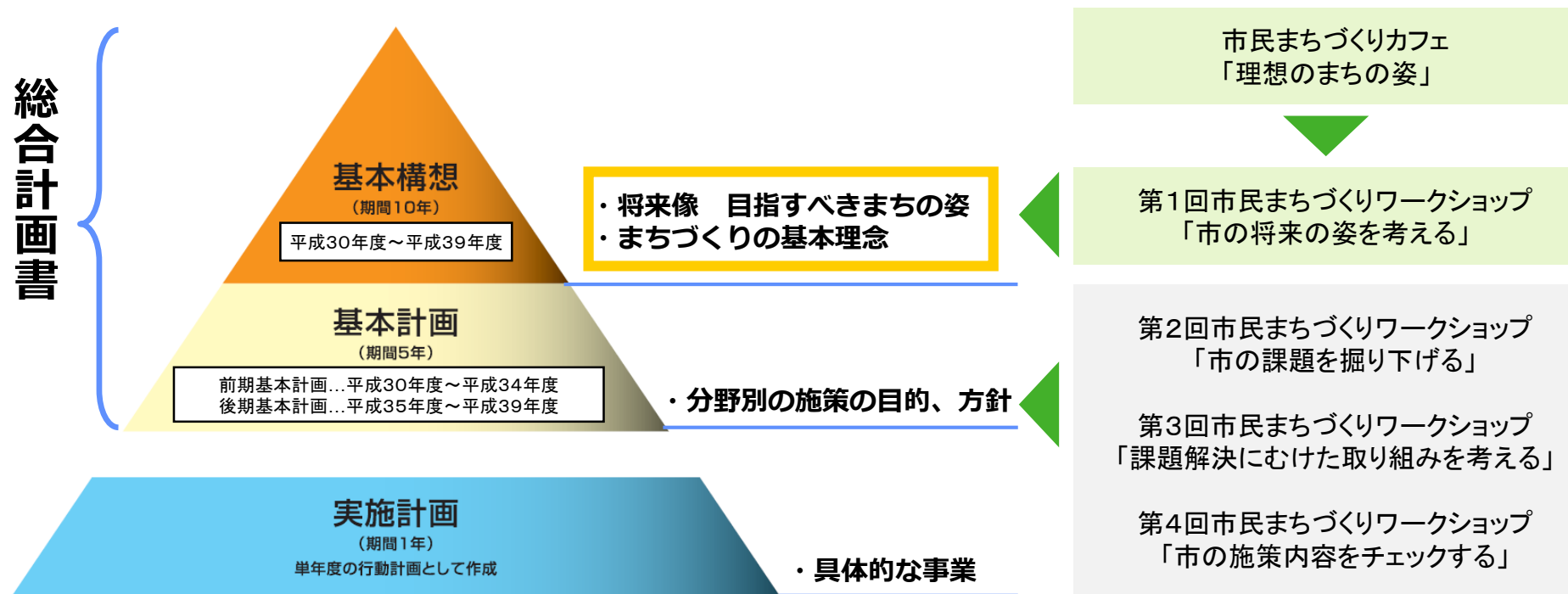
計画の策定にあたり、複数の手段と多様な視点から市民意見を収集しています。



総合計画は市の取組だけで実現できるものではなく、市民、事業者など、香取市に関係するすべての人々が認識を共有し、各々が計画に向けて取組みを進めることで実現されます。そのため総合計画は、多くの人が理解しやすく、共感できる内容でなければなりません。様々な方法による市民参加は、その結果を適切に総合計画へ反映することで、総合計画を市民にとって身近で親近感のわくものへと近づけます。

ワークショップ意見の計画への反映

全4回のワークショップ毎に、検討内容が異なり、また、検討結果の反映先、反映方法が異なります。

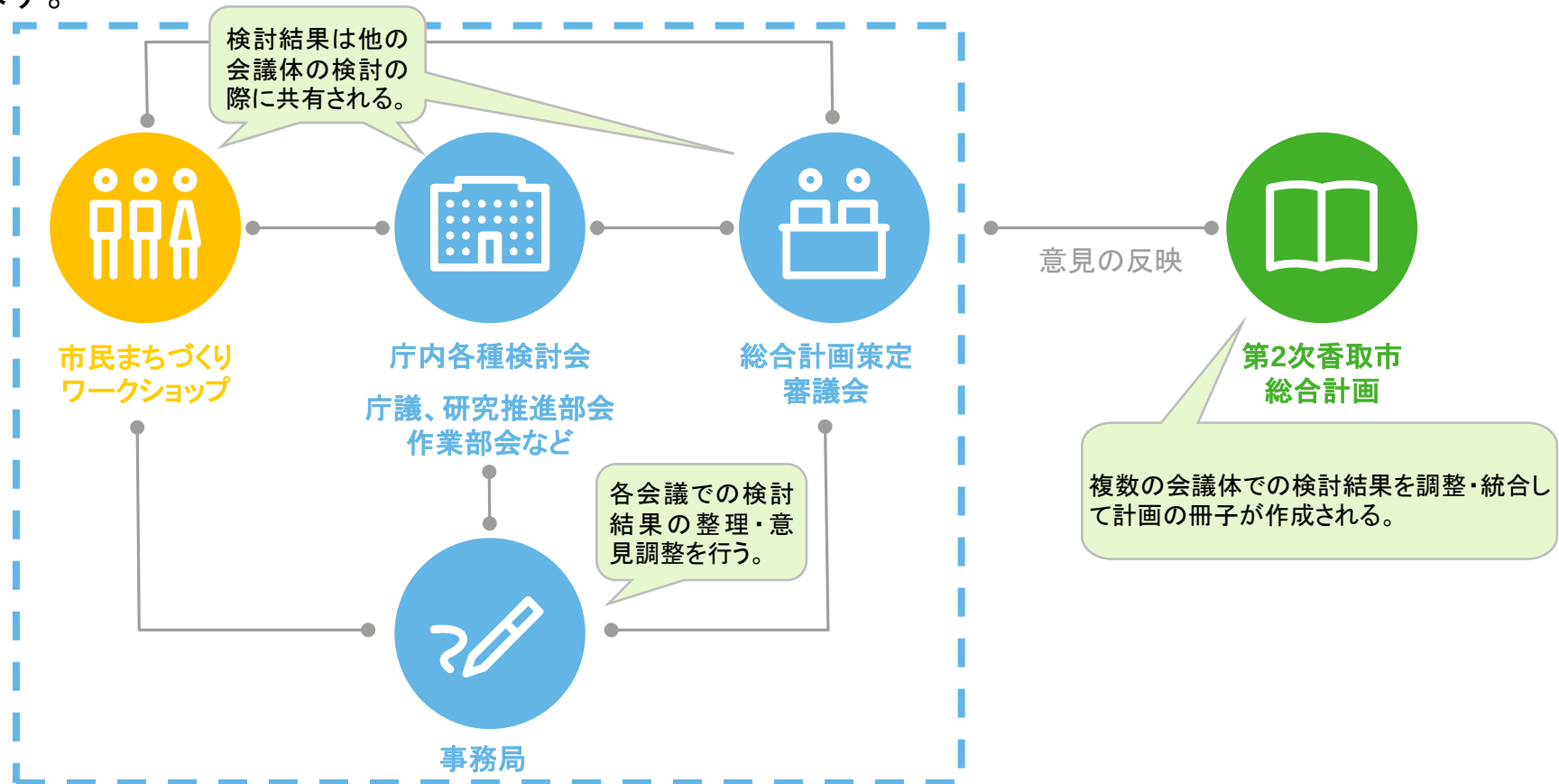


※上記のイラストは検討中の計画イメージであり、検討の過程で変更がある可能性があります。

計画策定の進捗に合わせて、ワークショップでの議題を設定します。それぞれの回の検討結果は、事務局で整理、調整し、参考意見として計画の各項目の策定に用いられます。計画策定の際に市民からの意見や視点を織り交ぜることによって、行政からの視点にとどまらない幅広い視点で計画を作成します。

検討結果と他検討会との関係

ワークショップでの検討結果は、計画策定に関係する他の検討会に持ち越され、各検討会の議論の軸となります。



ワークショップでの検討結果は、事務局を経由して、庁議や研究推進部会といった行政での検討会や有識者らで構成される総合計画策定審議会の場に共有されます。総合計画の策定の過程では、同一の項目について複数の会議体のそれぞれ異なった視点を持って議論をします。複数の会議体での議論を経ることによって、単一の視点では見えてこなかった切り口、キーワード、表現方法の検討が可能となります。

第1回 まちづくりワークショップ での検討結果

第1回 まちづくりワークショップ

開催概要

- 実施目的

市民主体の議論を通じて総合計画策定にかかる意見を収集する。また、計画策定プロセスへの市民参加によって、計画に対する説明責任を果たし、市民の地域課題に対する当事者意識の啓発につなげる。総合計画作成において行政の立場のみならず複数の立場から計画内容を検討することによって、より広範な視点で計画を作成する。

- 開催期日、開催場所

平成29年5月13日(土) 10:00～12:45 香取市役所 会議室

- 参加対象

16歳以上の市民の方

- 参加者

32名 内訳【年代別】 10代:10人(うち高校生9人)、30代:2人、40代:6人、60代:7人、70代:6人、80代:1人

【男女比】 男性:24人 女性:8人

- ワークショップを通じての目標成果物

「将来のまちの姿」を表すフレーズ

- 成果物の総合計画での反映予定箇所

庁内検討対での検討・調整を経て、「基本構想:将来のまちの姿」に反映予定

ワークショップでの検討の結果作成された「まちの姿を表すフレーズ」 1/2

参加8班によって8つの「まちの姿を表すフレーズ」が作成されました。

		A班	B班	C班	D班
フレーズ		構成：年齢30代～40代前半 (男4、女1)	構成：高校3年生 (女4)	構成：高校2・3年生 (男5)	構成：年齢10代～40代前半 (男4、女1)
		自然と文化が作る豊かな暮らしを実現する町かとり ～人を育み人が輝き、人がつながる町を目指して～	緑・文化とともに歩み育つまちKATORI ～市ラブ1000%～	「歴史」「躍動」「交流」のまち香取 ～ニッポニアカトリを掲げて～	ワクワク 皆が輝け「田舎で悪いか！」かとり
	意図・思い	・ 地産地消による地域での経済循環を目指す(おいしい農作物など)。 ・ 祭り、まち並み、歴史など香取の魅力をアピールして観光客が増加してほしい。 ・ 歴史や文化、自然に包まれて暮らすことの魅力(豊かな暮らしの実現)。 ・ 町の未来を担う人材を育成する(起業しやすいまち)。 ・ 若者が活躍するまち。 ・ 地域の人や観光客(外国人)が交流できるまち。	・ 香取市の強みである緑(自然)と文化とともに、香取市も成長・発展していきたいから。 ・ 市ラブは、香取市にもっと愛着をもって住み続けてほしいから。	・ 歴史…祭礼、神社仏閣、町並みを誇るまち。 ・ 躍動…老若男女問わず活躍できるまち。 ・ 交流…世代・言語を超えた交流のできるまち。 ・ ～ニッポニアカトリを掲げて～…香取が日本に位置することを世界に発信！	・ 赤ちゃんから高齢者まで皆が持てる力を発揮できるまちをつくることで、住んでいる人が「楽しい」、「ワクワク」する。それが外から見ても「香取市にいい！」「住みたい」と思ってもらえると考えている。 ・ 都心からもそれほど遠くなく田舎過ぎもしない、田舎の良さをPRする。 ・ 決して開き直っているわけではない！インパクト重視！！

ワークショップでの検討の結果作成された「まちの姿を表すフレーズ」 2/2

参加8班によって8つの「まちの姿を表すフレーズ」が作成されました。

		E班	F班	G班	H班
		構成：年齢60代後半～70代 (男4)	構成：年齢70代～80代前半 (男4)	構成：年齢60代後半～70代 (男2、女1)	構成：年齢40代～70代前半 (男4、女1)
フレーズ		水と自然と歴史が調和して 多世代交流推進の町 水郷香取！	豊かなひとを育てる 歴史・文化自然のまち 「香取」	若者が希望をもって 取り組み、高齢者も 尊厳を持って暮らせる町	自然・歴史文化を活かし 時代の変化に対応し てみんなで作り上げる町！
	意図・思い	・ 田園(農地など)を表している。 ・ 祭礼行事や仕事を通じた若者と高齢者の交流を表している。 ・ 歴史文化を表している。	・ 住んでみたいまち。 ・ 歩いて全部の買い物ができるまち。 ・ ゆったり暮らせる(医療・大学)。 ・ 起業家育成(農業の近代化)。 ・ 外を見て豊かさを考える。	・ 広い水田、畑、山林を有効活用してもらいたい。 ・ 若い人のアイデアを取り入れる。 ・ 高齢者もお手伝いできる環境づくり。	・ 生かし切れていない香取市の良さを強調し、国や自治体のみではなく、市民一人ひとりが考えながら取り組んでゆくまちづくり！！

5月13日実施ワークショップの流れ

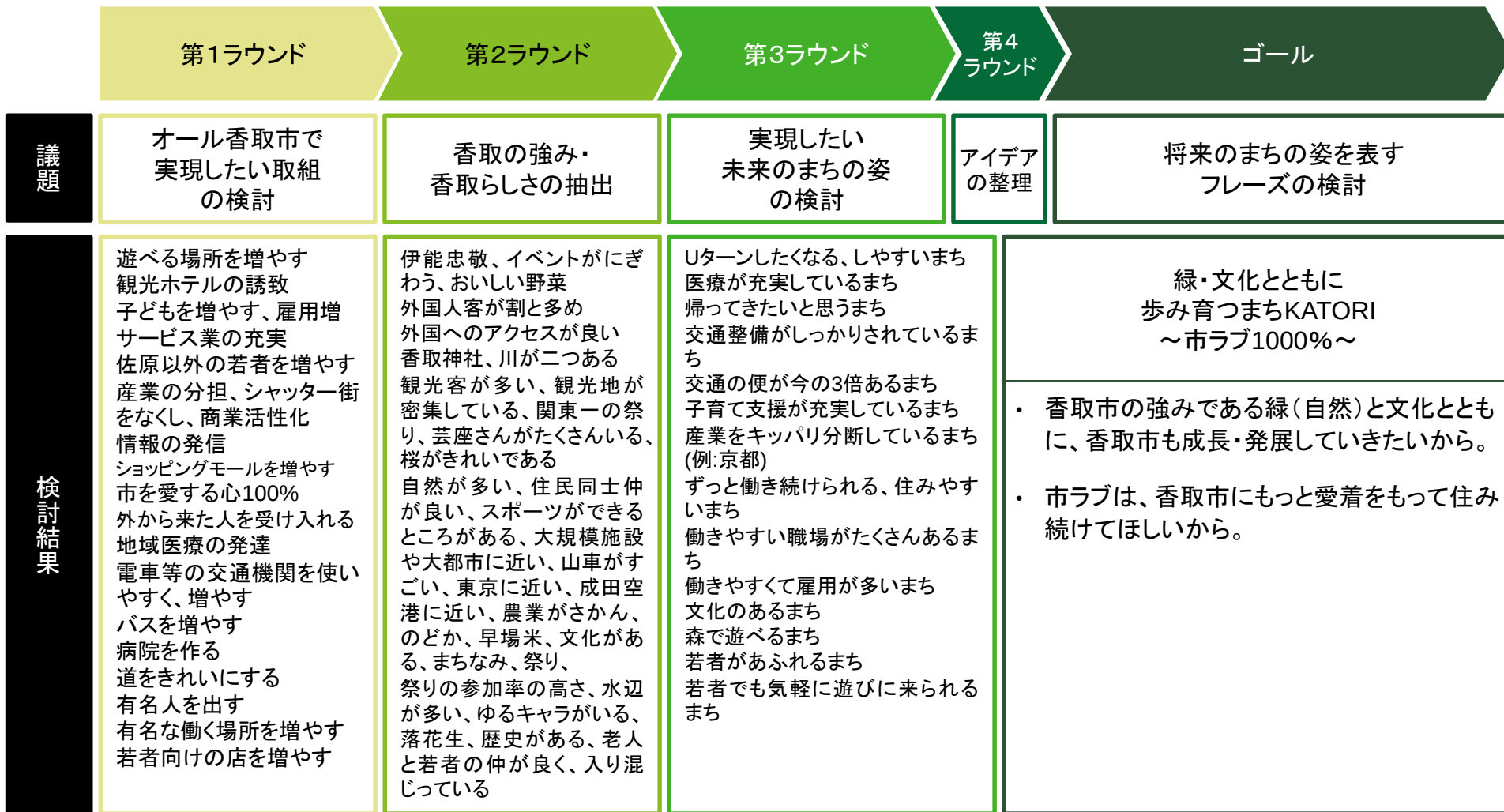
	第1ラウンド	第2ラウンド	第3ラウンド	第4ラウンド	ゴール
議題	オール香取市で実現したい取組の検討	香取の強み・香取らしさの抽出	実現したい未来のまちの姿の検討	アイデアを比較検討しながら整理	将来のまちの姿を表すフレーズの検討
時間	15分	15分	15分	25分	25分
作業内容	参加者が各自で「オール香取市で実現したい事」を付箋に書き出した後、グループで実現したい順位をつけます。	参加者が各自で「香取の強み・香取らしさ」を付箋に書き出した後、グループで共感するらしさ・強みに順位をつけます。	参加者が各自で「実現したい未来のまちの姿」を書き出します。	グループで、第1、第2、第3ラウンドで検討した内容を用いながら、「香取市で実現したい」香取市の「強み・らしさ」を生かせるまちの像を検討します。	第4ラウンドで検討したまちの像を表すフレーズを検討します。
成果物	① オール香取市で実現したい事項 ② 実現したい項目の順位	① 市民が思う香取市の強み・らしさを記した付箋 ② 強み・らしさの順位	① 実現したい未来のまちの姿	—	① まちの姿を表すフレーズ

今回のまちづくりワークショップの目標成果物

各班での検討のプロセス(A班)

	第1ラウンド	第2ラウンド	第3ラウンド	第4ラウンド	ゴール
議題	オール香取市で 実現したい取組 の検討	香取の強み・ 香取らしさの抽出	実現したい 未来のまちの姿 の検討	アイデア の整理	将来のまちの姿を表す フレーズの検討
検討結果	Uターン インバウンド呼び込み 起業しやすい仕組み、環 境整備 求人が多い 行政と民間の連携 公共資産の有効活用 産婦人科を作る 人口増加 人口流出防止 法人を増やす 魅力のあるまちづくり 遊休不動産の活用 レジャー施設の増加 若者が楽しい街づくり	アウトドアができる 田舎である、伊能忠敬 イベントが多い おいしい野菜、香取神社 川魚料理がある 観光資源が豊富 空港が近い、国宝 子どもの安全を見守って いる、佐原ばやし 自然が多い 地域のコミュニティがある チェーン店が少ない(居酒 屋、飲食店)、釣りができる 東京から近い田舎 独自の伝統文化(祭りやま ちなみ)、農業が盛ん まちなみ、まつり 水が豊富、水辺が多い 道の駅がある、みりん 余白隙間が多い、ロケの まち、路地が多い	歩いて楽しめるまち(中心市街 地の復活) 安心して子育てのできるまち 医療施設の充実したまち いろんな産業が連携したまち 交通の便が良いまち 子育て支援の充実したまち 自然と文化が融合するまち 自然と歴史を大事にするまち 地元でお金がまわるまち(地産 地消) 大学があるまち 知名度のあるまち 人がたくさんいて活気のあるまち ゆっくりお酒が飲めるまち 夜が楽しいまち 歴史のまち 若者が帰ってきたいまち 若者が活躍できるまち 若者が住めるまち	自然と文化が作る豊かな暮らしを 実現する町かとり ～人を育み人が輝き、 人がつながる町を目指して～ ・ 地産地消による地域での経済循環を目指す(お いしい農作物など)。 ・ 祭り、まち並み、歴史など香取の魅力をアピール して観光客が増加してほしい。 ・ 歴史や文化、自然に包まれて暮らすことの魅力 (豊かな暮らしの実現)。 ・ 町の未来を担う人材を育成する(起業しやすいま ち)。 ・ 若者が活躍するまち。 ・ 地域の人や観光客(外国人)が交流できるまち。	

各班での検討のプロセス(B班)



各班での検討のプロセス(C班)

	第1ラウンド	第2ラウンド	第3ラウンド	第4ラウンド	ゴール
議題	オール香取市で 実現したい取組 の検討	香取の強み・ 香取らしさの抽出	実現したい 未来のまちの姿 の検討	アイデア の整理	将来のまちの姿を表す フレーズの検討
検討結果	いろいろな世代の交流 学生が積極的にまちなか に出る 香取の良さの再発見 ちゃんとした観光客向け のホテルを作る バリアフリーがたくさんあ る高齢者にやさしい場所 を増やす まちなかに飲食店を増やす まちの活気を取り戻す 祭りの周知 若い世代の就職先を作る 若者へのサービス増加	伊能忠敬 江戸優りのまちなみ、CM やドラマの舞台となるま ちなみ 小野川のまちなみ 各地域の伝統的な祭り 香取神宮がある 川から発達した歴史 巨大な人形を用いた山車 等による祭り 高速道路と電車が通っ ている 佐原の古い町並み 佐原の祭り 自然が豊か(利根川など) 東京まで一時間半くらい 土地が安い	遊ぶ場所のあるまち(レジャー施 設)、医療が充実しているまち 海外に知られたまち(ニッポニア サクラ)、グルメなまち、交通の便 が良いまち、高齢者が生活しや すいまち、小江戸感あふれるまち 産業が盛んなまち、就職先がたく さんあるまち、世代間交流や活動 の場がたくさんあるまち、大学が あるまち、独自の就職先があるま ち(食べ物系)、ドラマ、漫画、イベ ントでもアピールしているまち 働く場所が充実しているまち(戻 ってこられるまち)、人が住みたくな るまち、星空とまちなみと竹あか りをたのしむまち、まちなかにも 自然が残っているまち、夜も活気 のあるまち、歴史と生き続けられ るまち、歴史と伝統のまち、歴史 と文化が根付き、残っているまち 若者が活気づくまち	「歴史」「躍動」「交流」 のまち香取 ～ニッポニアカトリを掲げて～ ・ 歴史…祭礼、神社仏閣、町並みを誇るまち。 ・ 躍動…老若男女問わず活躍できるまち。 ・ 交流…世代・言語を超えた交流のできるまち。 ・ ～ニッポニアカトリを掲げて～…香取が日本に位置することを世界に発信！	

各班での検討のプロセス(D班)

	第1ラウンド	第2ラウンド	第3ラウンド	第4ラウンド	ゴール
議題	オール香取市で 実現したい取組 の検討	香取の強み・ 香取らしさの抽出	実現したい 未来のまちの姿 の検討	アイデア の整理	将来のまちの姿を表す フレーズの検討
検討結果	異世代が楽しく集える場 所づくり インバウンド取り込み 香取神道流発信 香取市や佐原の商業区、 観光区、農業区、居住/教 育区の興隆、特化 高齢者施設に子供やママを 子育てにやさしい地域づく りの講座開催 子連れママが子連れで社 会参加できる場所をつくる 子連れママが学べる場所 づくり 佐原駅までの複線化 地ビールづくり 寺子屋教育 伝統、文化発信 風雲香取城 孫育ちBOOKづくり まちなかでの居場所	赤ちゃんに対して厳しくな く、歓迎してくれる いいかげん、伊能忠敬 丘の上の畑や豊富な水田 外部から面白い人が来て いる、香取神社 頑張っている企業がある (芳原ファーム、恋する豚、 THE FARMなど) 近所づきあいがあり、見 守ってくれる 高速バス 自然 田園風景 農業や畜産 広い川 野菜や肉が安い 若い農家が無農薬栽培に 取り組んでいる	赤ちゃんのたくさんいるまち 穴場なレジデンス お金が集めやすい/ 集まるまち お金を稼げるまち 高齢者も自分の力が発揮でき るまち 志のある人が芽を伸ばせる、育 てるまち 子育て中のお母さんが活躍でき るまち 伝統文化発信のまち 特集しやすいまち ひとりひとりが輝くまち 便利な田舎 学びあえるまち わくわくすること、たのしいこと がたくさんあるまち	ワクワク 皆が輝け 「田舎で悪いか！」かとり - 赤ちゃんから高齢者まで皆が持てる力を発 揮できるまちをつくることで、住んでいる人 が「楽しい」、「ワクワク」する。それが外か ら見ても「香取市にこう！」「住みたい」と 思ってもらえると考えている。 - 都心からもそれほど遠くなく田舎過ぎもしな い、田舎の良さをPRする。 - 決して開き直っているわけではない！ イン パクト重視！！	

各班での検討のプロセス(E班)

	第1ラウンド	第2ラウンド	第3ラウンド	第4ラウンド	ゴール
議題	オール香取市で 実現したい取組 の検討	香取の強み・ 香取らしさの抽出	実現したい 未来のまちの姿 の検討	アイデア の整理	将来のまちの姿を表す フレーズの検討
検討結果	お年寄り二人暮らし世帯が多い、河川文化のPR 佐原の大祭のPR 市の協力者が老人主体である、市民と役所の交流が少ない、住民税等の税金を減らす、人口増 人材(リーダー)の育成 税收を増やす 大農業者が低所得なのはなぜか、地域の活動に高齢者ばかりが参加する 小見川が以前よりシャッター街が多い、特産品がない、農業の後継者がいない ボランティアを大切にしていない、まちなかに駐車場が少ないのでパークアンドライドを促進する 街並みと河川岸の景観の保全	伊能忠敬 小野川沿いのまちなみ 香取神宮 里部川の水上スポーツ 幸四朗 自然が美しく住みよい 小江戸佐原 城山公園桜の開花宣言 小見川花火大会 利根川(水の都) 日本遺産になった佐原のまちなみ 人情がある ユネスコ登録された山車祭り 和郷園	医師不足の解消を目指すまち 医療が充実したまち 活気のある商店があるまち 交通の便が良いまち 高齢者が明るく楽しいまち 高齢者の生きがいのあるまちづくり 子どもを産む環境のあるまち 自主性、積極性、協調性のあるまち、自然と共生するまち、生涯 大学校の活用、助産師がいるまち、設備が良く、医師の多い総合病院のあるまち 設備が良く、医師の多い総合病院のあるまち 多目的レジャー施設(老若男女が利用可) 努力が報われるまち ボランティア活動の窓口を明確に見守りネットワークのできるまち 夜も楽しいまち 若者が働く場所の多いまち	水と自然と歴史が調和して 多世代交流推進の町 水郷香取！ ・ 田園(農地など)を表している。 ・ 祭礼行事や仕事を通じた若者と高齢者の交流を表している。 ・ 歴史文化を表している。	

各班での検討のプロセス(F班)

	第1ラウンド	第2ラウンド	第3ラウンド	第4ラウンド	ゴール
議題	オール香取市で 実現したい取組 の検討	香取の強み・ 香取らしさの抽出	実現したい 未来のまちの姿 の検討	アイデア の整理	将来のまちの姿を表す フレーズの検討
検討結果	医療の充実 駅前商店街を豊かにする 大型商業拠点のまち 起業家の育成 米作りの観光のまち 雇用の減少 自然を生かした公園のまち 人口の減少 住みやすさのあるまち 農業の近代化と起業家育成 まちなみ整備 モータリゼーションの促進 歴史的町並みの観光充実 歴史のまち	道の駅の周辺 観光まちなみ 成田空港に近く、海外へ 目を向ける 自然が豊か 米、農業、農産物が豊富 歴史や文化がある 祭り、山車 コンテナの技術革新と新鮮野菜 コミュニティバスの利用 自動運転の特区分 インフラが弱い 神宮の裏側をもっと開発 できるのではないかと 前向きな民力不足 高速インターの周辺を利用 するための開発が不十分 田んぼの豊かさをもっと PRできればよい	挨拶できるまち 歩いて全部がそろそろ商店街 歩いて回れる安心したまち 医療の充実と安心があるまち 海外に目を向けるまち 買い物ができるまち 高齢者が安心して暮らせるまち 子育てができるまち ごみのないまち コミュニティバスの自動運転特 区分 人口が増える方策 精密事業のまち(工場誘致) 田園、歴史のあるベッドタウン のまち 歴史学のまち(大学誘致) 若者が帰ってくるまち 若者がはたらけるまち	豊かなひとを育てる 歴史・文化自然のまち 「香取」 ・ 住んでみたいまち。 ・ 歩いて全部の買い物ができるまち。 ・ ゆったり暮らせる(医療・大学)。 ・ 起業家育成(農業の近代化)。 ・ 外を見て豊かさを考える。	

各班での検討のプロセス(G班)

	第1ラウンド	第2ラウンド	第3ラウンド	第4ラウンド	ゴール
議題	オール香取市で 実現したい取組 の検討	香取の強み・ 香取らしさの抽出	実現したい 未来のまちの姿 の検討	アイデア の整理	将来のまちの姿を表す フレーズの検討
検討結果	香取市の歴史を広めたい 喫茶店づくり(気軽に集ま れるところ、会話できると ころ、森のイシキアのよう な) 財政の安定のために稼ぎ 出すシステム 新規事業のアドバイス すぐに来てくれるタクシー (免許証を返納しても移動 しやすい状況) 夕田んぼの整理(農機が 入りにくい所は農地から外 して転用を可とする) なんでも窓口を新設 要望に対して予算がない ライスセンターの充実(若 者が農業をしやすいよう にする)	ドクターヘリの着陸地をつ くる 平らな土地と水が豊富 気温が良い 広大な畑と水田 歴史のまちである カヌーやボート等のウォー タースポーツ 家庭ごとの揚げもち、かき もちがおいしい 災害に強い 第一次産業、第二次産業 について進んだ計画を立 てる	液状化に強いまち 希望をもって農業に取り組める まち 共同作業するまち 高齢者も尊厳をもって暮らせる まち 子どもたちが集団遊びを楽しめ るまち 水上スポーツ、観光ボートを楽し めるまち 町内のつながりを保つ デジタルを共有し、広める ボランティア活動するまち 野菜、その他無料の施設づくり 歴史のあるまち 若者がIoT技術で地場産業を支 援するまち 若者が帰ってくるまち 若者が魅力を感じるまち	若者が希望をもって 取り組み、高齢者も 尊厳を持って暮らせる町 ・ 広い水田、畑、山林を有効活用してもらいたい。 ・ 若い人のアイデアを取り入れる。 ・ 高齢者もお手伝いできる環境づくり。	

各班での検討のプロセス(H班)

	第1ラウンド	第2ラウンド	第3ラウンド	第4ラウンド	ゴール
議題	オール香取市で 実現したい取組 の検討	香取の強み・ 香取らしさの抽出	実現したい 未来のまちの姿 の検討	アイデア の整理	将来のまちの姿を表す フレーズの検討
検討結果	医療施設の充実、飲食店の誘致、駅に近い役所窓口、合宿所、研修所、合併効果、環境保全(市民参加)、観光経済の活性化 ケーブルテレビ、幸福度をアップさせる(町に住みたいと思える)、災害時のためのライフラインの強化 持続可能なまちの経済活動、シニア世代の健康増進、市の高速道路付近のまちづくり、市民109条作成し、全員配布、就業のマッチング、専門学校の開設(文化、芸術他)、大学の分校開設、地区のFM、地産地消の推進、農業市のアピール、農業の6次産業化、文化、芸術面の交流の場所、文化を大切にする町、まちなみ景観づくり、若者が住む町	伊能忠敬 各種の農作物を作れる川と田んぼ 気候の良さ 米 サツマイモ、落花生 静けさ 城址古墳 商人町の文化 大祭文化 山車 地区の祭り、神楽 地理的条件の良さ 東京から1時間、成田空港から30分 歴史的まちなみ	安心して子育てができるまち 今の情報を発信できるまち 高齢者が活躍するまち 子どもでにぎわうまちづくり 産業のIoT化(マネジメント、マーケティング) 自然と共生するまち 自動運転のバスが走るまち 市民が元気なまち 地域医療が充実しているまち 地産地消 農学で生きられるまち 農作物が豊かなまち ポイ捨てのないきれいなまち 歴史、文化、自然をいかせるまち 歴史、文化を大切にするまち 若者が帰ってきたいまち 若者が帰ってこられるまち 若者が住みたくなるまち	自然・歴史文化を活かし 時代の変化に対応し てみんなで作り上げる町！ ・ 生かし切れていない香取市の良さを強調し、国や自治体のみではなく、市民一人ひとりが考えながら取り組んでゆくまちづくり！！	

第1回 まちづくりワークショップ アンケート結果

アンケート質問項目一覧

アンケートでは、まちづくりワークショップ参加の感想、今後の参加意向を把握しました。

1. 最初に該当する性別及び年代に○をつけてください。
2. 本日参加された感想をお聞かせください(該当項目に○をつけてください)。

本日のまちづくりワークショップはお楽しみいただけましたか？

本日のまちづくりワークショップでは、ご自分の意見を十分に発言できましたか？

本日のまちづくりワークショップでの話し合いの時間(長さ)は、いかがでしたか？

今後、市民参画の機会がありましたら、また参加したいと思いますか？

3. 本日のまちづくりワークショップの中で、気づいたことや感じたことがあればお聞かせください。

第1回 まちづくりワークショップ・アンケート結果の概要

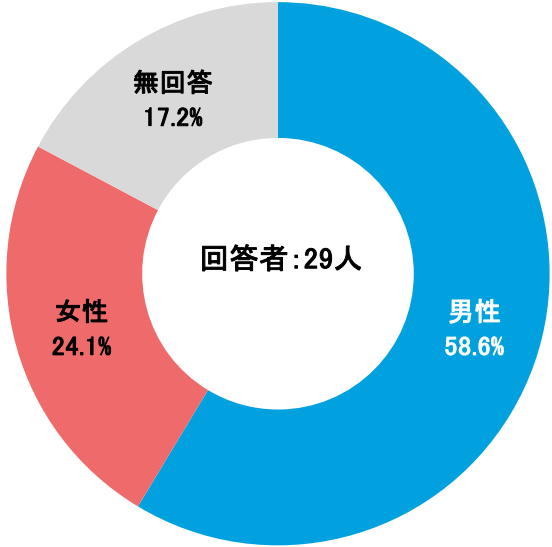
多くの参加者が、まちづくりワークショップで楽しみながら活発に意見を発言でき、今後も市民参画の機会があれば、また参加したいと考えています。

- ✓ まちづくりワークショップの参加者数は32名で、アンケートへの回答者は29名でした。
- ✓ 参加者でアンケートを回答した人のうち86.2%(25人)が、まちづくりワークショップを楽しめたと回答しています。
- ✓ 参加者でアンケートを回答した人のうち82.8%(24人)が、自分の意見を発言できたと回答しています。
- ✓ 参加者でアンケートを回答した人のうち51.7%(15人)が、話し合いの時間がちょうど良かったと回答しています。
- ✓ 参加者でアンケートを回答した人のうち96.5%(28人)が、市民参画の機会があればまた参加したいと回答しています。
- ✓ 自由記述では、対話の重要性についての意見が多く出されたほか、香取市の今後の展開や、まちづくりワークショップの今後の運営についての感想が述べられました。

参加者の状況

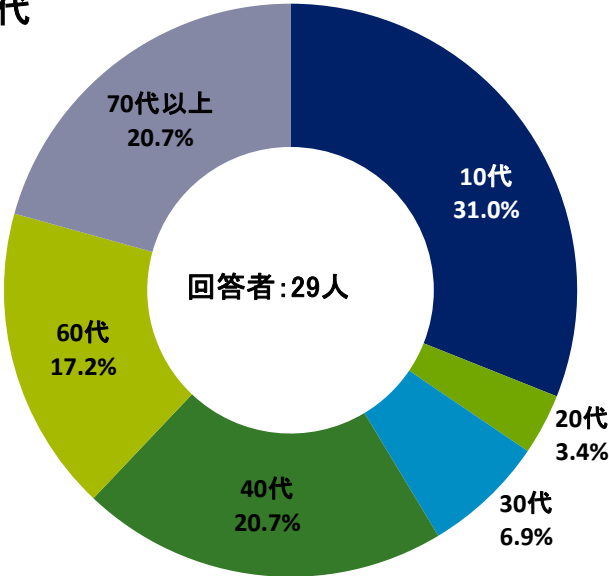
開催日時	平成29年5月13日（土） 10:00～12:45
アンケート回答者数	29名（参加者数:32名）

参加者の性別



性別	人数
男性	17人
女性	7人
無回答	5人
総計	29人

参加者の年代

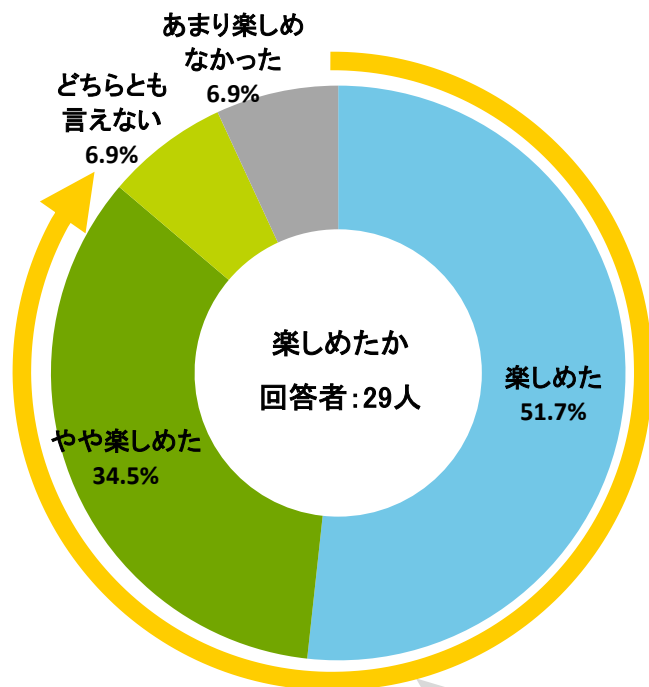


年代	人数	年代	人数
10代	9人	50代	0人
20代	1人	60代	5人
30代	2人	70代以上	6人
40代	6人	無回答	0人
		総計	29人

まちづくりワークショップの感想

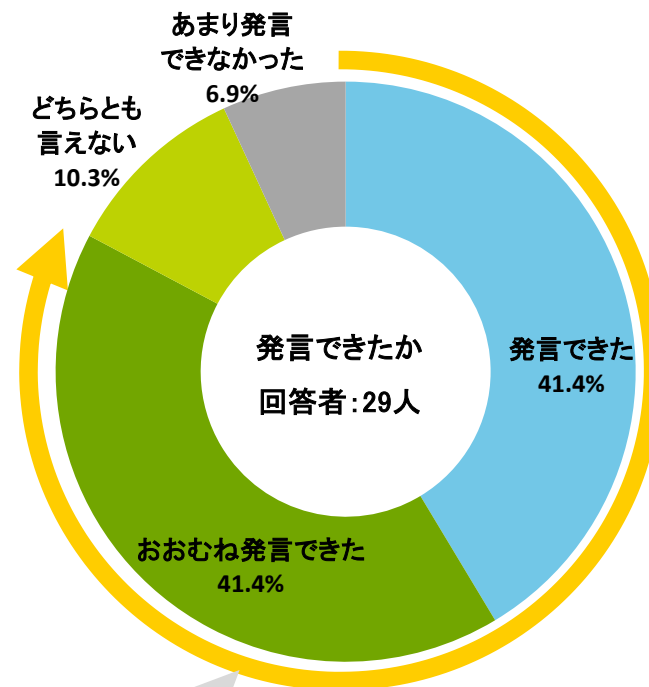
参加者でアンケートを回答した人のうち86.2%(25人)が、まちづくりワークショップを楽しめたと回答しています。また、82.8%(24人)が、自分の意見を発言できたと回答しています。

2-1_本日のまちづくりワークショップは
お楽しみいただけましたか？



回答者のうち、
楽しめたと回答した
割合は86.2%でした。

2-2_本日のまちづくりワークショップでは、
ご自分の意見を十分に発言できましたか？

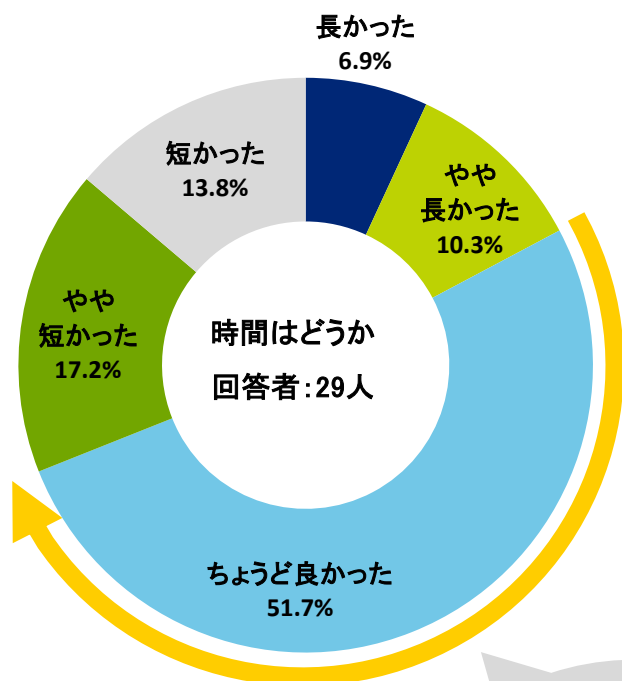


回答者のうち、
発言できたと回答した
割合は82.8%でした。

まちづくりワークショップの感想

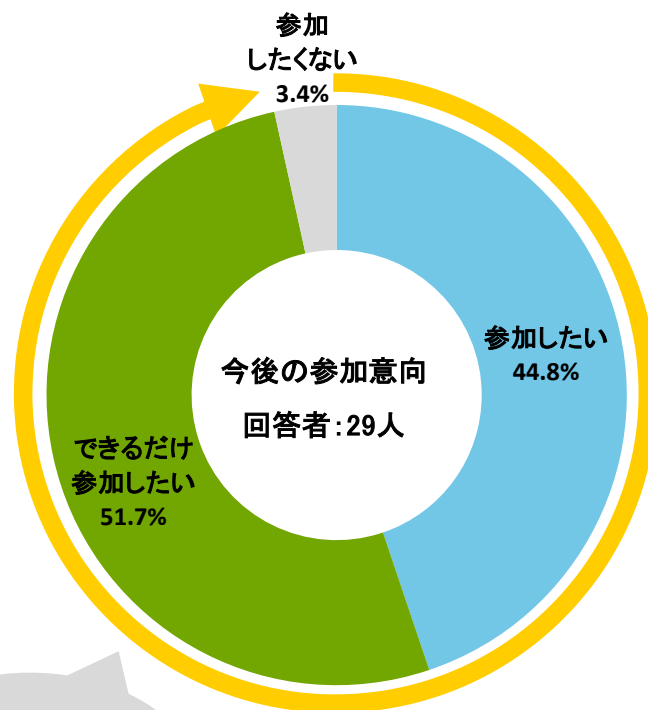
参加者でアンケートを回答した人のうち51.7%(15人)が、まちづくりワークショップでの話し合いの時間がちょうど良かったと回答しています。また、96.5%(28人)が、また参加したいと回答しています。

2-3_本日のまちづくりワークショップでの話し合いの時間(長さ)は、いかがでしたか？



回答者のうち、
ちょうど良かった
と回答した割合
は51.7%でした。

2-4_今後、市民参画の機会がありましたら、また参加したいと思いますか？



回答者のうち、
また参加したい
と回答した割合
は96.5%でした。

まちづくりワークショップ実施に対しての自由記述(主な意見)

対話の重要性についての意見が多く出されたほか、香取市の今後の展開やまちづくりワークショップの今後の運営についての感想が述べられました。

3_本日のまちづくりワークショップの中で、気づいたことや感じたことがあればお聞かせください。

カテゴリー	主な感想
今後の進め方について	1回目ということもあり、具体的な話ができないのがもどかしかった。問題の解決方を話し合い実行したい。
	漠然とした感じがしました。
	10～12時、時間を守りましょう(終了時間12:45)。司会の方が時間内に終了する姿勢が見えなかった。
	カフェと内容が多分に重複していました。もっと市の現状を初めにしっかり把握した上で、議論をさせるというプロセスが必要だと思います。つかみとしては、やっぱり踏み込みが足りないのではないのでしょうか。意外と農業の話をする人が多かったです。
	時間が足らなかったと思います。
市の今後について	人材育成のビジョンが必要と思う。民生委員・自治会長等地域の主になる人がいない。全ては人からです。
	佐原、香取内の学生の声としては、就職先だけではなく大学もほしいということは初めて聞いた。
対話の重要性について	若い人から高齢の方まで様々な方の意見を聞けて面白かったです。「香取市」のワークショップでしたが、参加者の方のお話が佐原中心での意見が多かったかな？と思います。
	グループ内のコミュニケーションもうまくいき、求められた作業もスムーズに実施できた(手順が前回のブレで学んでいたの)。
	同じ年齢の人たちと話し合いができて、とても話し合いやすかった。現状(香取)を理解することがとてもわかった。社会勉強としてはとても良いものだと思う。

	回答数	割合	記入なしを除いた割合
今後の進め方について	8	27.6%	34.8%
地域の良さについて	0	0.0%	0.0%
対話の重要性について	10	34.5%	43.5%
市の今後について	5	17.2%	21.7%
その他	0	0.0%	0.0%
記入なし	6	20.7%	
総計	29	100.0%	100.0%

参考：第1回まちづくりワークショップの様子

まちづくりワークショップ 各テーブルの様子



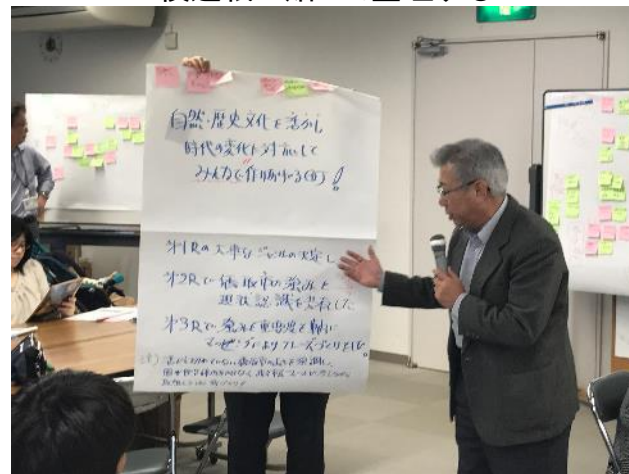
各テーブルで、意見を共有しながら議論を進める



個人の意見をテーブルで議論して共有し、
模造紙に貼って整理する

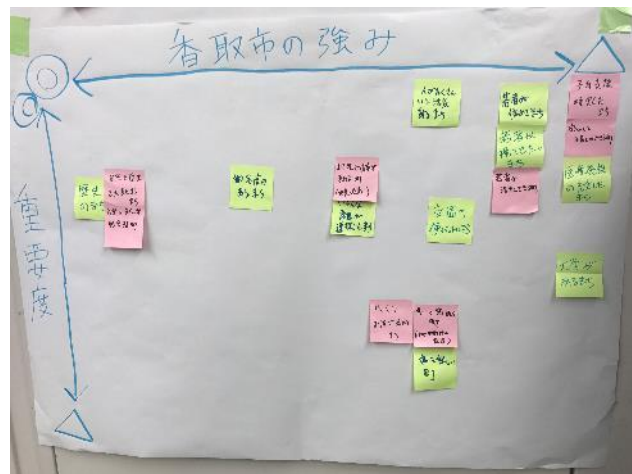


各ラウンド終了時に、議論の結果を発表

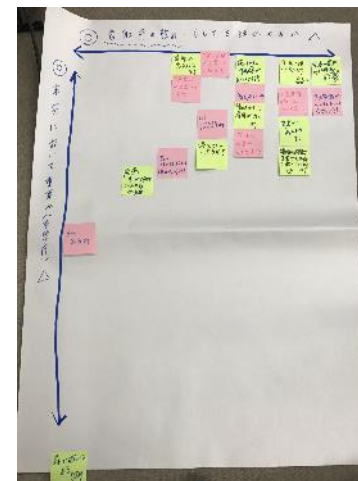


テーブルでの全体の議論を踏まえ、
まちの将来像のフレーズをつくり、結果を発表

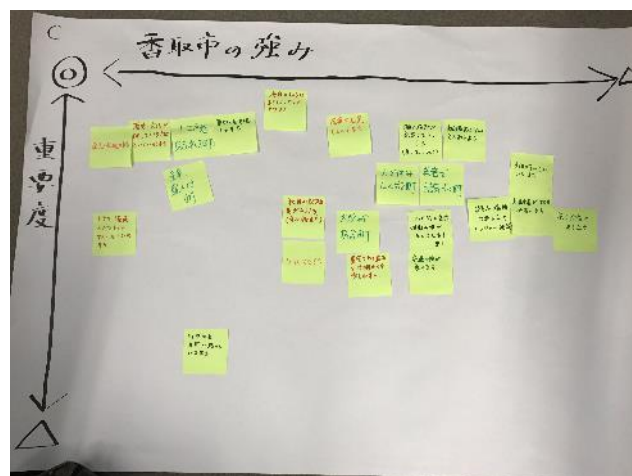
ワークショップ 第3・第4ラウンド アイデア比較検討の過程



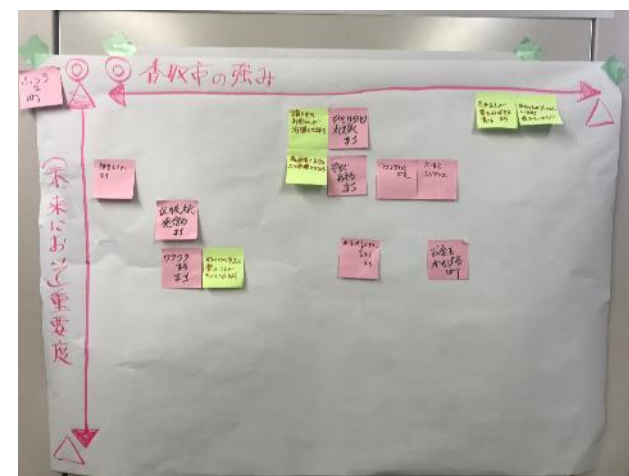
A班



B班

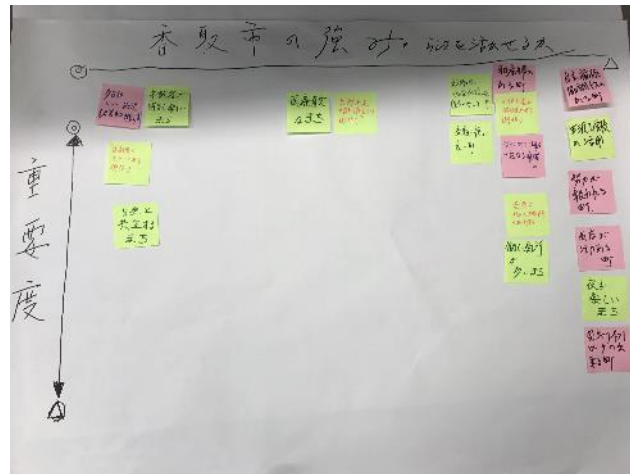


C班

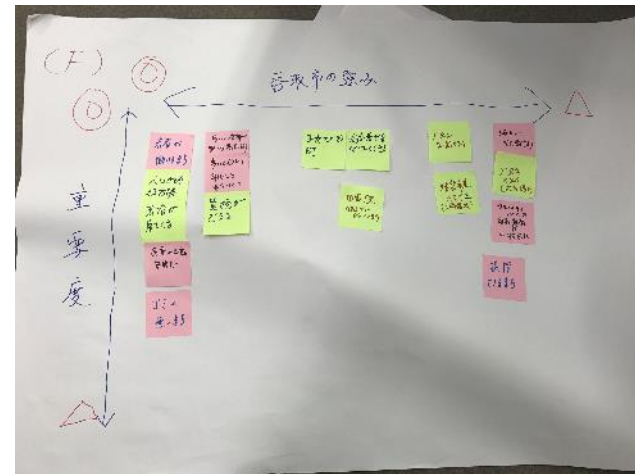


D班

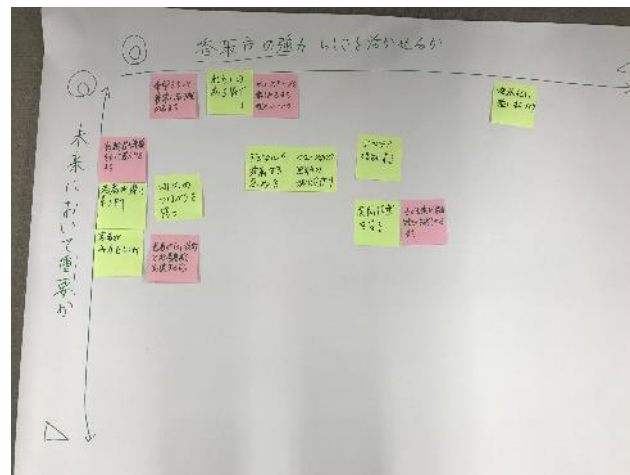
ワークショップ 第3・第4ラウンド アイデア比較検討の過程



E班



F班



G班



H班